

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

震災から11年が経過しましたが、相双地域の営農再開は道半ばであります。官民合同チームでは、これからも農業者様の声を伺い、農業者様に寄り添って、営農再開の拡大に向けた様々なご支援を続けてまいります。（支援内容は裏面をご覧ください）
営農再開され、相双地域で頑張られている農業者様や地域の話題を紹介いたします。



【飯舘村での取組】

飯舘村産農産物のヨークベニマルへの新たな流通体制ができました！

飯舘村で生産された農産物をヨークベニマルに出荷する新たな流通ルートが、飯舘村、(株)ヨークベニマル様、仲卸業者の(株)マルセイ様の連携により3月24日からスタートしました。村の草野集会所で週に1回集荷を行い、県北地域のヨークベニマルへ出荷されます。初出荷当日は、農家の皆様、杉岡村長、(株)ヨークベニマルの真船社長ほか関係者が出席され、初出荷式が行われました。今回は、ニンニクスプラウト、ホウレンソウ、シイタケ、コマツナが出荷され、翌日には、福島市内のヨークベニマル店舗で販売され好評でした。相双機構では、出荷される農業者様へのご説明等をご支援させていただきました。販路拡大にご関心のある農家の皆様、お気軽にご相談ください！



初出荷の様子



【川俣町での取組】

体験型観光農園「スマイルファーム」がオープンしました！

令和4年2月、体験型観光農園「スマイルファーム」が川俣町山木屋にオープンしました。代表の谷口豪樹様は、埼玉県出身で平成25年の福島赴任をきっかけに、平成30年に「復興の力添えをしたい」との思いから、会社を辞め新規就農されました。農園には、1haの敷地でハウスが3棟あり、いちご、アンズリウムやヒマワリ等の花を栽培されています。また、いちご狩り、フラワーアレンジメントやリースづくり等が体験できます。相双機構では、開園にあたっての各種ご相談に対するご支援をさせていただきました。季節ごとの花が咲き揃う園内で、農業に触れる体験をしてみたいかがでしょうか。

お問い合わせ先：スマイルファーム 070-4084-2799



代表の谷口様



フラワーアレンジメント



【南相馬市での取組】

福島県オリジナルのいちご品種「ふくはる香」が美味しくできました！

南相馬市原町区の伊賀良真様は、平成25年に営農再開。現在は、「伊賀いちご園」を経営し、「ふくはる香」をはじめ、3品種のいちごを栽培されています。栽培施設では、太陽光・水・温度・二酸化炭素濃度・肥料等を高度に制御し、数種類の肥料をブレンドさせ、いちご栽培をされています。皆様に食べて頂いた際の笑顔を思い浮かべながら愛情込めて育てられたいちごは、甘くて美味しいなどと評判です。これらのいちごは、伊賀いちご園の直売所、ホームページ、南相馬市及び相馬市内のヨークベニマル様の地場産品コーナー等で、5月頃まで販売中。相双機構は、販路拡大へのご支援をさせていただきました。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

[伊賀いちご園](#)

[検索](#)

いちご栽培を行う伊賀様



伊賀いちご園の直売所



福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）とは？

被災された事業者を個別訪問し、相談型のご支援を行うため創設された組織です。国、福島県、福島相双復興推進機構の三者で福島相双復興官民合同チームを構成しています。

そのうち、**営農再開グループ**では、東北農政局、福島県、福島相双復興推進機構の三者による農業者の個別訪問を実施しています。

個別訪問：営農再開グループ員が農業者様に個別訪問し、営農再開に向けての課題や農地利用予定等について、お話を伺います。

対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、双葉町、浪江町、飯館村

対象となる方：震災時に上記市町村で農業を行われていた方
今後上記市町村で新たに農業を行う方



お伺いした内容をふまえて、ご要望に応じた支援を無料で行います

農産物販売の悩みに対応します！

「生産拡大したいが販売先がない」「震災後下落した価格を回復させたい」
このようなお悩みには、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。

農業技術の悩みに対応します！

「作物がうまく栽培できない」
「どの作物を栽培すべきかわからない」
このようなお悩みには、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

制度活用時の悩みに対応します！

「補助金の申請方法がわからない」
「農業法人設立の進め方がわからない」
このようなお悩みには、訪問員がアドバイスを行います。

その他の取組

地域・集落での営農再開に向けた取組の支援

今後の担い手不足に対応するため、地域の中核として営農を続ける農業者の方への農地集積が円滑に行われるよう、市町村やJAと連携して農地のマッチングなどの支援活動を実施しています。

畜産の再開に取り組む事業者のネットワーク構築

震災によって失われた畜産事業者のネットワークや耕畜連携を復活するため、相双機構が各種企画（セミナーや先進地見学会、現地検討会等）を実施しています。

農地利用の意向確認

所有している農地の今後の利用意向についてもお聞きしています。農地貸出希望の方につきましては、今後市町村や担い手の方と連携し、貸出についてサポートさせていただきます。

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117
（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <http://www.fsrt.jp>



営農再開グループの
ページはこちら→



< 公式SNSページはこちら >



@kanmingoudouteam

@kanmingoudou_T